

## 資料 2

# 令和 8 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査等業務仕様書

### 1. 委託業務名

令和 8 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査等業務委託

### 2. 業務の趣旨

各小・中学校において児童生徒一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図るものである。

### 3. 委託内容

岩手県教育委員会が実施する令和 8 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査（CBT）及び令和 9 年度岩手県中学校新入生学習状況調査（CBT）（以下両調査を合わせて「本件調査」という。）に係る問題等の作成

#### （1） 令和 8 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査に係る問題等の作成

- ア 学習定着度状況調査の問題（小 5：国語・算数、中 2：英語・数学 各 15 問程度）
- イ 各問題の採点基準、解答類型一覧表
- ウ リスニング問題・音源（中 2 英語）
- エ 問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表

#### （2） 令和 9 年度岩手県中学校新入生学習状況調査に係る問題等の作成

- ア 新入生学習状況調査の問題（中 1：国語・数学 各 15 問程度）
- イ 各問題の解答類型一覧表
- ウ 問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表

### 4. 委託期間

契約締結の日から令和 9 年 1 月 29 日まで

### 5. 実施要項

- ・ 令和 8 年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査実施要項
- ・ 令和 9 年度岩手県中学校新入生学習状況調査実施要項

### 6. 実施方法

#### （1） 作業手順

本件調査は、いずれも MEXCBT(文部科学省 CBT システム)を利用して CBT 形式で実施する(3. 掲載の本件調査に係る実施要項を参照のこと)。

これを前提に、本件調査の問題作成は、岩手県の定める問題作成方針に基づき、岩手県学習定着度状況調査委員会（以下、「学調委員会」という）の検討を経て問題を作成する。作成手順は次の表のとおりとする。

なお、第 2 回から第 7 回までの学調委員会には、委託業者（各教科担当者）もリモートにて出席すること。

①令和8年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査に係るスケジュール

時 期	作 業 内 容 (★：委託業者、☆：学力調査委員)
5月中旬	<b>第1回学調委員会</b> (学力調査委員のみ参加) ☆令和8年度問題作成の方針を確認する。 ☆サンプル問題及び調査問題等(案0)を作成する。
6月第1週	<b>第2回学調委員会</b> ★第2回学調委員会までに調査問題等(案1)を学校教育室宛て送付する。 ☆調査問題等(案0及び案1)をもとに、調査問題等(案2)を作成し、学校教育室及び委託業者に送付する。 ★委員会後、必要に応じて学力調査委員と連絡調整する。
6月第2週	<b>第3回学調委員会</b> ☆調査問題等(案2)を検討し、調査問題等(案3)を作成する。 ★調査問題(案3)を学力調査委員と共有する。 ☆調査問題等(案3)を学校教育室及び委託業者に送付する。 ★第4回学調委員会までに、調査問題等(案3)を学校教育室へ送付する。
6月第3週	<b>第4回学調委員会</b> ☆調査問題等(案3)を検討し、調査問題等(案4)を作成し、学校教育室及び委託業者に送付する。 ★委員会後、必要に応じて学力調査委員と連絡調整する。
6月第4週	調査問題等の確定 ☆学校教育室において、調査問題等(案4)について関係職の決裁を仰ぐ。
令和8年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査に係る問題等の搭載については、 文部科学省委託業者が調査問題等を引き継ぎ、実施する。	
10月7日(水)	調査実施

②令和9年度岩手県中学校新入生学習状況調査に係るスケジュール

時 期	作 業 内 容 (★：委託業者、☆：学力調査委員)
7月初旬	<b>新入生学調(国語)の説明文等の候補選定</b> ★説明文等の候補となる題材を学校教育室宛て送付する。 ☆学力調査委員によって、説明文等の候補を選定する。
10月第5週	<b>第5回学調委員会</b> ★第5回学調委員会までに調査問題等(案1)を学校教育室宛て送付する。 ☆調査問題等(案0及び案1)をもとに、調査問題等(案2)を作成し、学校教育室及び委託業者に送付する。 ★委員会後、必要に応じて学力調査委員と連絡調整する。
11月第2週	<b>第6回学調委員会</b> ☆調査問題等(案2)を検討し、調査問題等(案3)を作成する。 ★調査問題(案3)を学力調査委員と共有する。 ☆調査問題等(案3)を学校教育室及び委託業者に送付する。 ★第7回学調委員会までに、調査問題等(案3)を学校教育室へ送付する。
11月第4週	<b>第7回学調委員会</b> ☆調査問題等(案3)を検討し、調査問題等(案4)を作成し、学校教育室及び委託業者に送付する。 ★委員会後、必要に応じて学力調査委員と連絡調整する。

12月下旬	調査問題等の確定 ☆学校教育室において、調査問題等（案4）について関係職の決裁を仰ぐ。
令和9年度岩手県中学校新入生学習状況調査に係る問題等の搭載については、 文部科学省委託業者が調査問題等を引き継ぎ、実施する。	
1月下旬	★完了報告書等提出

(2) 問題等作成の留意事項

- ① 問題作成は、委託先で原案を作成し、県の学調委員会に提案し、協議することにより完成させる。
- ② 問題等の作成にあたっては、下記のようにする。
  - i 令和8年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査
    - ア 問題構成
 

問題は本調査実施のために約70%は新規に作成し、約30%程度は経年比較を行う。  
 なお、調査問題等は、岩手県において決定する。
    - イ 出題形式
 

「選択式」、「短答式」、「記述式」とする。
    - ウ 出題範囲
 

原則として、前学年までの学習内容に、県学調は以下を加える。

      - ・小学校第5学年
        - ①国語
 

第5学年の1学期までの内容
        - ②算数
 

「整数と小数」から「偶数と奇数、倍数と約数」まで
      - ・中学校第2学年
        - ①英語
 

第2学年の9月までの内容
        - ②数学
 

「式の計算」、「連立方程式」、「一次関数（2節 1次関数の性質と調べ方まで）」
    - エ 問題数
 

・各教科、概ね15問程度とする。
    - オ 問題作成の際に参考にする教科書
 

岩手県内の小中学校で使用されている全ての教科書とする。
    - カ 問題の体様
      - ・作問に当たっては、MEXCBTを利用して実施するCBT形式の調査であることを意識し、児童生徒が円滑に調査に回答できるようにするという観点から、設問の表示レイアウトや回答方式を慎重に検討すること。
      - ・出題形式や回答方式については、「令和6年度全国学力・学習状況調査経年変化分析調査実施結果報告書（令和7年7月文部科学省・国立教育政策研究所）」の「6. モードエフェクト」に示されている知見や設問レイアウト、回答方式なども踏まえて検討すること。

- ・その他、全国学力・学習状況調査の CBT 化に関する最新の知見を踏まえて設問のレイアウトや回答方式を検証すること。
- ・問題の様式は、各教科とも端末の画面比相当のレイアウトとする。
- ・1つの小問が、1画面中で完結することが望ましい。
- ・1つの小問が、1画面で収まらない場合は、スクロールにより必要な情報が確認できるレイアウトとなることを想定する。

キ 問題等の送付

調査に係る問題等の作成ファイルは以下のとおりとし、データを学校教育室に送付する。

- ・学習定着度状況調査の問題 <PowerPoint プレゼンテーション (.pptx) >
- ・各問題の解答類型一覧表 <Excel ブック (.xlsx) >
- ・リスニング問題・音源 (中2英語) <MP3 (.mp3) >
- ・問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表 <Excel ブック (.xlsx) >

ク 各問題の採点基準、解答類型一覧表の作成

解答類型は全国学力・学習状況調査解説資料に準ずるものとする。

ケ 著作物等の使用許諾

- ・調査問題等に使用する著作物等の使用許諾については、委託業者において適切に処理するものとする。
- ・差し込み画像は委託業者によってすべて著作権処理済の上、JPEG (.jpg / .jpeg) または PNG (.png) で提供する。

ii 中学校新入生学習状況調査問題等の留意事項

ア 問題構成

問題は本調査実施のために約70%は新規に作成し、約30%程度は経年比較を行う。  
なお、調査問題等は、岩手県において決定する。

イ 出題形式

「選択式」、「短答式」、「記述式」とする。

ウ 出題範囲

小学校第6学年までの学習内容とする。

エ 問題数

各教科、概ね15問程度とする。

オ 問題作成の際に参考にする教科書

岩手県内の小学校で使用されている全ての教科書とする。

カ 問題の体様

- ・作問に当たっては、MEXCBTを利用して実施するCBT形式の調査であることを意識し、生徒が円滑に調査に回答できるようにするという観点から、設問の表示レイアウトや回答方式を慎重に検討すること。
- ・出題形式や回答方式については、「令和6年度全国学力・学習状況調査経年変化分析調査実施結果報告書(令和7年7月文部科学省・国立教育政策研究所)」の「6. モードエフェクト」に示されている知見や設問レイアウト、回答方式なども踏まえて検討すること。
- ・その他、全国学力・学習状況調査の CBT 化に関する最新の知見を踏まえて設問のレイアウトや回答方式を検証すること。
- ・問題の様式は、各教科とも端末の画面比相当のレイアウトとする。
- ・1つの小問が、1画面中で完結することが望ましい。
- ・1つの小問が、1画面で収まらない場合は、スクロールにより必要な情報が確認できるレイアウトとなることを想定する。

キ 問題等の送付

調査に係る問題等の作成ファイルは以下のとおりとし、データを学校教育室に送付する。

- ・ 新入生学習状況調査の問題 <PowerPoint プレゼンテーション (.pptx) >
- ・ 各問題の解答類型一覧表 <Excel ブック (.xlsx) >
- ・ 問題のねらい、評価の観点、領域の一覧表 <Excel ブック (.xlsx) >

ク 各問題の採点基準、解答類型一覧表の作成

解答類型は全国学力・学習状況調査解説資料に準ずるものとする。

ケ 著作物等の使用許諾

- ・ 調査問題等に使用する著作物等の使用許諾については、委託業者において適切に処理するものとする。
- ・ 差し込み画像は委託業者によってすべて著作権処理済の上、JPEG (.jpg / .jpeg) または PNG (.png) で提供する。

## 7. 調査問題等の活用

- (1) 作成した調査問題等に含まれる著作物の著作権は、県に帰属することとする。
- (2) マスコミに情報提供をする場合には、提供内容については岩手県教育委員会が判断し行うこととする。  
国語の問題に用いた著作物については、マスキングの上、提供することを想定している。
- (3) 中学校新入生学習状況調査に使用した調査問題等については、調査後に小学校に情報提供予定であること。